

スズメバチ科アシナガバチ亜科に対する 野外の巣への直接噴霧による効果

1 試験方法

野外のスズメバチ科(主にアシナガバチ亜科)の巣に対して、所定の濃度に調製したテンブリドSCを散布し、巣内及び巣外の成虫の生息個体数を5分後、15分後、30分後で計測し、効果の判定を行った。
(本試験は米国にて実施されたものです。)

2 試験内容

●処理濃度と対象の巣の数

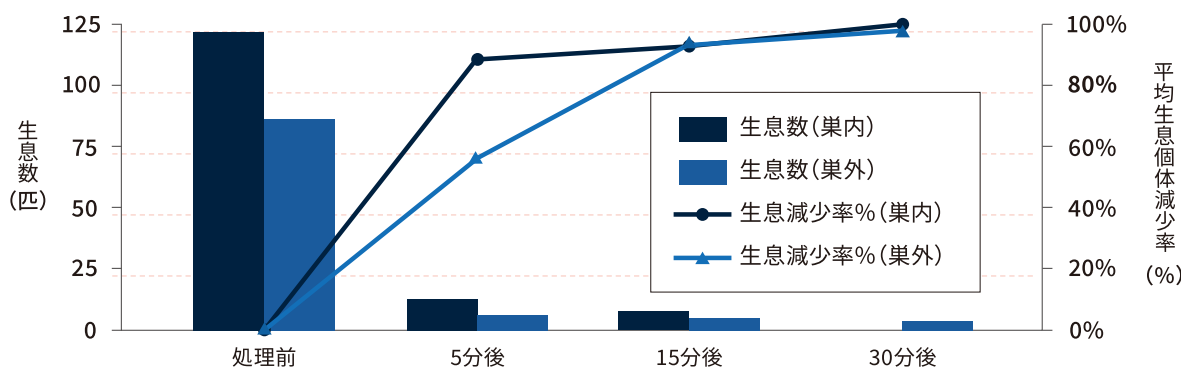
0.15% w/w(有効成分ミダクロプリド、シフルトリンの総量として)
テンブリドSC:236倍 対象の巣の数:10個

●散布方法と散布量

ピンストリーム散布機を使用し、対象の巣に直接噴霧を行った。
この際、散布量は30～60 mL/巣とし(適宜調整)、巣全体にかかり、かつ、巣の隙間にも薬液が入るように行った。

3 結果

合計10個の巣に対してここに処理を行い、それぞれの生息個体数を数え、
合計生息成虫数と平均生息個体減少率(%)を求めた。



全ての巣において、処理後から徐々に巣内外の生息個体数が減少し、30分後には減少率が巣内100%、巣外98%に達した。
また、巣内外から落下した個体は全てノックダウン状態となり、その後、回復することなく死に至った。

4 考察

試験結果より、テンブリドSCは、スズメバチ科アシナガバチ亜科への効果があることがわかった。
テンブリドSCのラベル記載の希釈倍率:200倍～400倍の中で、より濃い濃度での使用を推奨する。

スズメバチの駆除に使用する場合は、スズメバチが異常興奮と攪乱を起こし、より攻撃的になります。
周りに人や家畜、ペットなどが居ない事をよく確認の上使用して下さい。